

強風対策用ドロップ光ケーブル(2心タイプ)の販売開始

昭和電線ケーブルシステム株式会社(本社:東京都港区、取締役社長:大橋省吾)は、強風地域におけるFTTH配線に適した『強風対策用ドロップ光ケーブル(2心タイプ)』を、2014年11月より販売開始いたしました。

強風地域においては、強風の影響により屋外線引留金物の脱落や、ケーブルの繰返し振動による疲労破断が発生する場合があります。また、布設スパン長の制約が発生し、布設コストの削減の阻害要因となっています。本製品は、ケーブル構造を見直すことで、風圧荷重の低減および強風による自励振動を抑制した、耐風特性に優れたドロップ光ケーブルです。

本製品は2心ケーブル構造のため、FTTHの2心双方向通信方式、またはFTTHの1心双方向通信で1心予備心線が必要な場合にも使用できます。

今後、強風地域等をはじめ国内外の幅広いユーザーを対象に販売を拡大してまいります。

■ 新製品の特長

風圧荷重の低減・自励振動の抑制

支持線に対しケーブル部を撚り、撚り方向を一定のピッチで反転させたSZ撚り構造により、風圧荷重の低減・自励振動(ケーブル自体の振動)の抑制を実現

布設可能スパン長の拡大

風圧荷重の低減と高強度支持線により、布設スパン長の拡大が可能

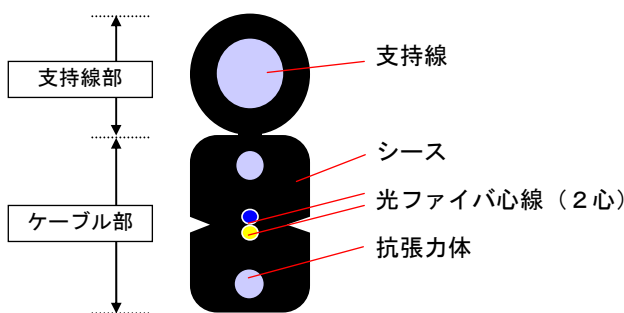
優れたクマゼミ耐性

シース材に高強度な難燃ポリエチレンを用い、クマゼミ産卵管による被害を大幅低減

環境配慮性

燃焼してもハロゲンガスは発生せず、JIS C 3005難燃傾斜試験に適合

■ 新製品の構造



| 項目 | 従来品 | 強風対策用※ |
|-----------|--------------------|---------------|
| 光ファイバ | シングルモード光ファイバ(高屈曲型) | |
| 心数 | 2心 | |
| 支持線 | φ1.2mm 鋼線 | |
| 外径(mm) | 2×5 | |
| 重量(kg/km) | 20 | |
| 備考 | - | SZ撚り構造 |



※ SZ撚り構造であることを除きケーブル構造寸法は従来品と同じなので、クロージャヤや固定金具などの周辺部材を変えることなく使用可能です。

本件に関するお問い合わせ先

昭和電線ホールディングス株式会社 経営企画部 IR・広報グループ TEL 03-5404-6951